

すぐに わかる えびののこつ  
いっき わかい えびのんこつ



# いた び 板 碑



しれきしみんぞくしりょうかん  
えびの市歴史民俗資料館

もくじ  
目次

1. <sup>いたび</sup>板碑はどこにあるの？ . . . . . 1
  
2. <sup>いたび</sup>板碑<sup>なに</sup>って何？ . . . . . 2
  
3. <sup>ひこやまでらあと</sup>彦山寺跡<sup>いたび</sup>の板碑について？
  - ① <sup>なにじだい</sup>何時代<sup>こんりゅう</sup>に建立されたの？ . . . . . 3
  - ② <sup>だれ</sup>誰<sup>だれ</sup>が誰<sup>こんりゅう</sup>のために建立したの？ . . . . . 3
  - ③ <sup>おお</sup>大きさはどれくらいあるの？ . . . . . 4
  - ④ <sup>いたび</sup>板碑<sup>なに</sup>には何<sup>か</sup>が書いてあるの？ . . . . . 4
  
4. <sup>いたび</sup>板碑<sup>ひこやまでら</sup>のある彦山寺とは？ . . . . . 6
  
5. <sup>ひこやまでら</sup>彦山寺<sup>ひこやま</sup>のある彦山の<sup>ゆらい</sup>なまえの由来は？ . . . . . 8

# いたび 1. 板碑はどこにあるの？



ひがしかわきた ち く ひこやまでらあと  
東川北地区の彦山寺跡にあります。

けんしていゆうけいぶん かざい どうろく しょうわ ねん がつ  
県指定有形文化財に登録(昭和40年8月17

にち  
日)されています。



いたび ひこやまでらあと ひがしかわきた ち く ちようぼう きりしまやま み  
板碑のある彦山寺跡(東川北地区)からの眺望。(霧島山が見えます。)

## 2. 板碑って何？



いたび こじん そせん くよう  
板碑とは、個人や祖先を供養するた

いたじょう いし つく くようとう  
めに板状の石で造った供養塔

そとば  
(卒塔婆)のことです。

そとば なん  
卒塔婆とは何でしょうか？



ひこやまでらあと いたび  
彦山寺跡の板碑

そとば  
卒塔婆



し ひと とむら  
それは、死んだ人を吊うため、

な きょう もんく か  
その名やお経の文句を書いて、

はか た き ふだ  
墓のそばに立てる木の札のこと  
です。



ひこやまでらあと いたび しゅひ ふくひ しゃんみぎ しゅひ ひだり ふくひ  
彦山寺跡の板碑には主碑と副碑があります。写真右が主碑で左が副碑です。

ひこやまでらあと いたび  
3. 彦山寺跡の板碑について



なにじだい こんりゆう  
① 何時代に建立されたの？

しょうちゅう ねん かまくらじだいまっき こんりゆう  
正中2年(1325)鎌倉時代末期に建立されました。



だれ だれ こんりゆう  
② 誰が誰のために建立したの？

まさきいん りょうしゅ くさかべし かくねん  
真幸院の領主である日下部氏が、※1 覚然

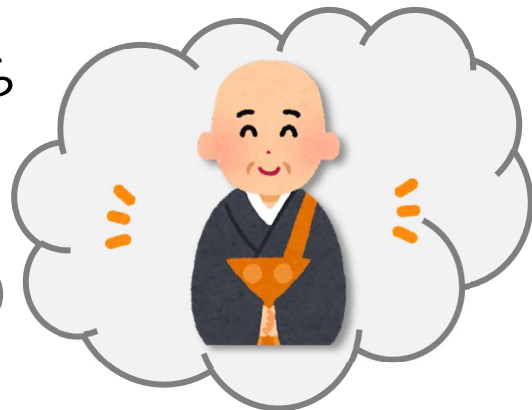
し さんじゅうさんか いき きんりん とく  
師の三十三回忌にあたり、近隣の徳のある

そうりよ まね りょうない じゅうみん いっしょ ほうよう いとな  
僧侶を招き、領内の住民と一緒に法要を営み  
みました。

で し ほうこう かくねんし とく おも  
そのとき、弟子の宝光が覚然師の徳を思い

だ した きも  
出し、慕う気持ちから

こんりゆう  
建立しました。

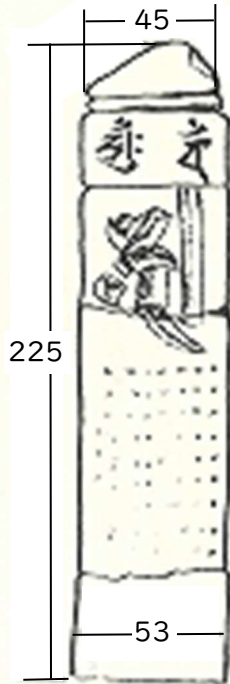


※1【覚然師】蒙古襲来(元寇)の時、祈祷僧として活躍した満足寺の高僧。

- ・蒙古襲来(元寇)は、モンゴル帝国が、東ヨーロッパからアジアの北部にまたがる広大な地域を支配し、中国に元を建国し日本に2度(1274年・1281年)攻めてきた事件。
- ・満足寺は、白鳥神社の近くに別当寺として建立された。



おお  
③大きさはどれくらいあるの？



いたび おお  
＜板碑の大きさ＞

しゅひ たか  
主碑の高さ 225cm

はばじょうぶ  
幅上部 45cm

はばかぶ  
幅下部 53cm

あつ  
厚さ 30cm

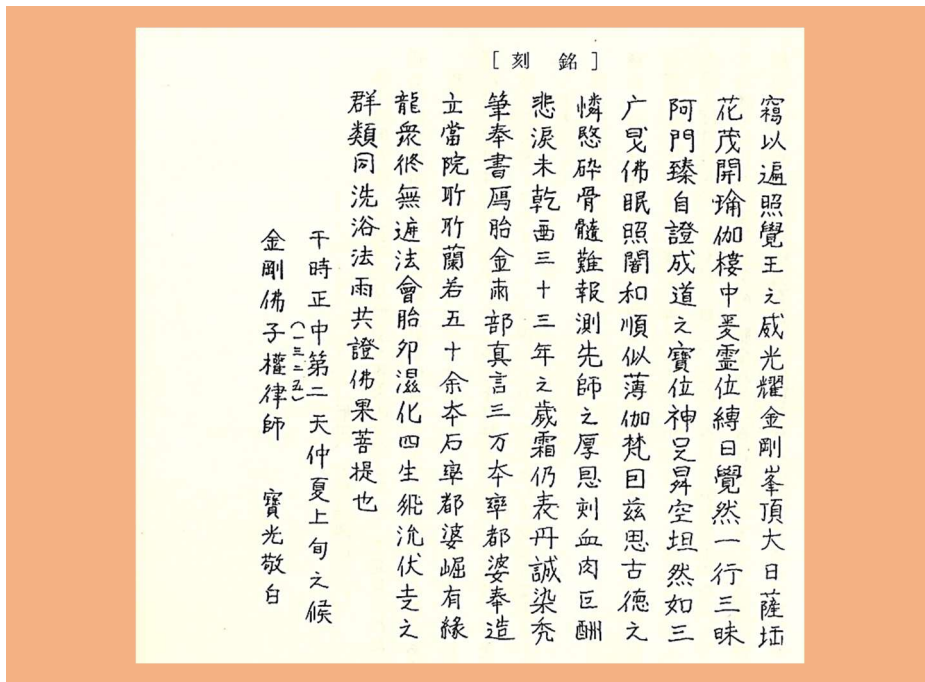
いたび おお  
板碑の大きさ『えびの市史 石塔編』



いたび なにか  
④板碑には何が書いてあるの？

いたび ひぶん もじ なが まさきいんない  
板碑にある碑文は、176文字と長く、真幸院内

てら あま いしそとば こんりゆう しる  
のお寺に50余りの石卒塔婆を建立されたと記さ  
れています。



いたび  
板碑にきざまれた文字『えびの市史 石塔編』より

ひぶん やく  
碑文を訳したものです。 < 訳: 上谷川則男氏 >

だいにちによらい いこう て こうやさん いただき かがや  
大日如来の威光はあまねく照らして、高野山の頂に輝き、  
だいにちによらい しんじゃ えいよ ま だいにちによらいしんこうしゅうだん なか  
大日如来の信者の榮譽は増し、大日如来信仰集団の中に  
ひろ そう かいきゅう ほうごう そんしょう ほんみょう  
広がる。ここに僧の階級や法号、尊称などをのけて本名  
だけを言えば覚然という。一心に修行する僧は、自ら悟  
りを開き仏の境地に至る。すぐれた弟子は悟りの境地に  
たっ ころ やす むしん だいにちによらい め やみ  
達し、心が安らかで無心な大日如来のようだ。眼は闇を  
て ほとけ め に にかし  
照らしおだやかであり、仏の目に似ている。ここに昔の  
こうとく そう どうと おも たいへんくしん むく よう  
高德の僧の尊さを思えば大変苦心しても報いることは容  
い な ししょう ふか おんけい かんが ち  
易ではない。亡くなった師匠の深い恩恵を考えれば、血  
にく きざ むく むづか かな なみだ いま  
肉を刻んでも報いることは難しい。悲しみの涙は今でも  
かわ さんじゅうさん さいげつ まごころ あらわ  
乾かず、三十三の歳月になろうとする。よって真心を表  
わして筆の穂に墨を含ませ、天台宗の経文を、さんまんほん  
そとば か たてまつ どういん てら ごじゅうよ  
卒塔婆に書きつけ奉り、当院のあちこちの寺に、五十余  
ほん いしそとば つく たてまつ そうりよ き  
本の石卒塔婆を造って奉る。すぐれた僧侶たちに来ても  
ししゃ ついぜんくよう おこな むし とり  
らい、死者の追善供養をとり行う。虫や鳥、けものなど  
い もの おな そとば くどく とも じょうぶつ  
すべての生き物も、同じく卒塔婆の功德で、共に成仏で  
きることを悟るであろう。

しょうちゅうにねんごがつじょうじゅん  
正中二年五月上旬

こんごうぶっしごんりっし ほうごう けいはく  
金剛仏子権律師 宝光 敬白

# 4. 板碑のある彦山寺とは？



ひこやまでら しらとりじんじゃ べっとうじ みやでら じんじゃ  
彦山寺は、白鳥神社の別当寺（宮寺：神社に

ふぞく てら しらとりじんじゃ べっとうじ  
付属する寺）であり、また白鳥神社の別当寺として

こんりゅう しらとりまんぞくじ いんきよじょ れきだいじゅうしよく  
建立された白鳥満足寺の隠居所で、歴代住職の

はか ところ  
お墓のある所です。



しらとりじんじゃ すえながちく  
白鳥神社（末永地区）



まんぞくじあと しらとりじんじやく  
満足寺跡（白鳥神社北約300m）



また、木崎原き さきばるで名なを馳はせた光厳上人こうげんしょうにんの墓石ぼせき、

島津義弘しまづよしひろの次男久保じなんひさやすく供養塔ようとうなど、多くおおの遺跡いせきがあります。

光厳上人こうげんしょうにんは木崎原き さきばるの戦たたかいのとき、白鳥満足寺しらとりまんぞくじ

の門徒もんたちと白旗しろはたやのぼりたを立て、鉦かねや太鼓たいこを打ち

鳴ならして、伊東軍いとうぐんの逃げ道にをさえぎりました。また、

光厳上人こうげんしょうにんは、島津義弘しまづよしひろの次男久保じなんひさやすの学問がくもんの師匠ししょうでもありました。

久保ひさやすはぶんろく文禄えきの役しゅつじんに出陣さいし21歳わかの若さびょうしで病死

しました。

※2【文禄の役】豊臣秀吉ぶんろく えき とよとみひでよしが朝鮮半島ちようせんはんとうと明国みんこくの征服せいふくをもくろみ文禄元年ぶんろくがねん（1592）朝鮮ちようせんへ出兵しゅつべいした。



彦山寺跡ひこやまてらあとの墓石・供養塔ぼせき ぐようとう

ひこやまでら ひこやま ゆらい  
5. 彦山寺のある彦山のなまえの由来は？



おおいた ひこさん い やまぶし  
大分にある英彦山は、ヒコサンと言って、※3山伏

しゅぎょうち ゆうめい  
の修行地として有名でした。



むかししまづ とのさま ぶんご げんざい  
昔、島津の殿様が豊後（現在の

おおいたけん おおともし せ い しまづ  
大分県)の大友氏に攻め入り、島津

ま さつま ひ かえ  
が負けて薩摩に引き返すことにな  
りました。

とき しまづ とのさま さつま こっきょう おく とど  
その時、島津の殿様を薩摩の国境まで送り届け

ひこさん やまぶし  
てくれたのが、英彦山の山伏たちでした。

※3【山伏】山野に寝起きして修行する僧。修験者。

どのようにして殿様を送り届けたのかというと、

しまづ とのさま うま  
島津の殿様を馬のハンギリ

うま えさ い おけ なか  
(馬の餌を入れる桶)の中に

い てき め ひがしかわきた やま おく  
入れ、敵の目をごまかして東川北のこの山まで送

とど  
り届けてくれたのです。

れい まいとしさつま めいば いっとう おく  
そのお礼として、毎年薩摩の名馬を一頭ずつ贈

やくそく  
る約束をしたのでした。

いらい ひこさん やまぶし うま まいとし  
それ以来、英彦山の山伏は、馬をもらいに毎年



やま く  
この山に来るようになったので、

やま ひこやま い  
その山を彦山と言うようになった

たそうです。



### ひこさん 英彦山について

ひこさん ふくおかけん おおいたけん さかい いち にほん  
英彦山は、福岡県と大分県の境に位置し、日本を

だいひょう さんがくしんこう れいざん なかだけ きただけ みなみだけ さん  
代表する山岳信仰の霊山です。中岳・北岳・南岳の三

ぼう さいこうてん みなみだけ やく  
峰からなり、最高点の南岳は約1200mあります。



し れ き し み ん ぞ く し り よ う か ん  
えびの市歴史民俗資料館で

いた び      じ つ ぶ つ だ い      た く ほん  
は 板 碑 の 実 物 大 の ※ 4 拓 本

て ん じ  
を 展 示 し て い ま す 。

※4【拓本】碑などに紙を当て、その上から墨をたたいて、  
刻まれた文字や模様などを写し取ったもの。



し れ き し み ん ぞ く し り よ う か ん      て ん じ し つ  
えびの市歴史民俗資料館 展示室

参考・引用文献

<図書>

資料名	発行年	著者・编者	出版社・発行所など
第4回 えびの市の史跡を学ぶ講座	2014年9月	上谷川則男	えびの市歴史民俗資料館
えびの市史 上巻	1994年3月	えびの市郷土史編さん委員会/編	えびの市
えびの市史 石塔編	1989年12月	えびの市郷土史編さん委員会/編	えびの市
えびの市史資料集Ⅱ (飯野郷土史 仏教編)	1991年12月	福永勝美	えびの市
史蹟めぐりの記 (加久藤北部)	1984年10月	迫田秀俊	迫田秀俊
えびの市の文化財	2013年3月	えびの市教育委員会	えびの市教育委員会
ふるさと散歩No.29 (広報えびの)	2001年3月	えびの市歴史民俗資料館	えびの市役所
家族ハイク・九州北部の山	1988年11月	足利武三・井上優	西日本新聞社
健康になる九州の山歩き	2009年7月	九州大学准教授・齊藤篤司 福岡県勤労者山岳連盟/監修	西日本新聞社
あい駆けよ～島津義弘 一熱血と慈悲の戦国武将～	2018年10月	三州同盟会議	三州同盟会議
広辞苑 第三版	1983年12月	新村出/編	株式会社 岩波書店
学研現代新国語辞典改訂4版	2008年1月	金田一春彦・金田一秀穂/編	株式会社 学習研究社
ベスト教科事典 国語辞典	2000年12月	市川俊男/編	株式会社 学習研究社

【編集協力】 上谷川則男





発行/2023年11月

しれきしみんぞくしりょうかん  
**えびの市歴史民俗資料館**

〒889-4311 宮崎県えびの市大字大明司 2146-2 TEL/FAX 0984-35-3144

ホームページ



X (旧Twitter)



Facebook

